

2026年2月 日米軍事情報 新聞記事サマリー

記事タイトル：	日本 2031年までに台湾近郊の与那国島にミサイル配備を予定 (原文タイトル：Japan to deploy missiles to island near Taiwan by 2031, says defence minister) (記事日付：2月25日)
サマリー：	<p>小泉防衛相は、台湾から約110キロに位置する与那国島に、2031年3月までに地対空ミサイルを配備すると発表した。配備時期の詳細が明らかにされたのは今回が初めて。</p> <p>今般のミサイル配備計画発表には、日中間の外交的緊張が要因として挙げられる。高市首相は、昨年11月、中国による台湾攻撃が日本の存立に関わる事態となれば自衛隊が関与しうると発言。同首相がこの発言の撤回を拒否したことで、中国は自国民への日本への渡航自粛呼びかけや、日本企業への「デュアルユース（軍民両用）」品目の輸出規制といった対抗措置を打ち出した。</p> <p>与那国島には、すでに約160人の自衛隊員が駐留し、レーダー等で中国艦艇の動向を24時間監視している。次年度には電子戦部隊の配置も予定されている。島の人口は約1,500人で、ミニチュアホースやシュモクザメで知られる観光地だが、島が「軍事要塞化」されることへの住民の不安もまだ根強く残っている。</p> <p>日本はさらに、与那国から約150キロに位置する尖閣諸島周辺海域への中国船の侵入問題でも中国と対立しており、東シナ海をめぐる緊張は多方面で高まっている。</p>
出典：	<p>英「ガーディアン紙 (The Guardian)」 https://www.theguardian.com/world/2026/feb/25/japan-missiles-yonaguni-island-near-taiwan-2031-defence-minister?CMP=share_btn_url (3月3日閲覧)</p>